

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和 年 月 日

事業所名: なかよし学童くらぶ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			・体操等ができる十分なスペースを確保するとともに、個別スペースも十分に確保している。	25	3				
	2 職員の適切な配置	○			・基準以上に配置している。	24	1		3		・わからないとご回答いただいている方もいらっしゃることから、あらためて契約時及びモニタリング等の面談時における説明を徹底する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	○			・基本的なバリアフリーの設備は有り。 ・ワークエリア、食事エリア、カームダウンエリアなど空間の構造化を行っている。	27	1				
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			・新型コロナウイルス等の感染予防に努めている。(アルコール消毒やエリア内での個別化など)	26	2				
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			・月1回以上職員会を開催し、話し合いの機会を設けている。また、勤務の都合により、全職員が参加できる機会が限られているため、社内メール等を活用し、情報共有ができる体制を整えている。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○	・実施していない。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			・月1回以上研修を実施している。 ・オンラインでの研修に積極的に参加している。 ・スーパーバイズを導入して取り組んでいる。						
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○				27			1	・ミーティングをかなりしっかりとし てくださり、その上で分析・良い 計画作りをしてくださっています。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供	2	○				26	1		1		
	3	○				/	/	/	/		
適切な支援の提供（続き）	4	○			・計画について全職員が共有し、統一した支援を提供できるように努めている。	27			1	・穏やかに過ごせています。	
	5	○			・職員で役割分担をしてプログラムの計画・実施を行っている。 ・基本プログラム（読み聞かせ、運動、音楽、工作、参加型ゲーム）以外にも社会性スキル、eスポーツ活動、SDGs活動、交流活動、季節行事を計画・実施している。	/	/	/	/		
	6	○			・一部のプログラムについては、小学生と中学生以上のプログラムの差別化を図っている。今後さらなる差別化が必要であると考えている。	26	1		1		
	7	○			・学校休業日の活動の流れや活動のプログラムを放課後とは区別して組み立てている。	/	/	/	/		
	8	○			・職員ミーティングを毎日実施し、当日の流れ（配慮事項を含む）や前日の振り返り（引継事項を含む）について共有している。	/	/	/	/		
	9	○			・日々の記録の方法についても共有し、ケース会や担当者会で活用している。 ・記録の方法や目的等についても職員会で共有している。	/	/	/	/		
10	○				/	/	/	/			

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
	11	○			・年2回(6か月に1回)実施している。						
関係機関との連携	1	○			・児童発達管理責任者及び担当職員が参加している。						
	2				・該当なし。						
関係機関との連携(続き)	3				・該当なし。						
	4	○			・引き継ぎ会や担当者会等の機会を活用して連携を図るように努めている。今後は日常的に連携できる体制を構築していく。						
	5	○			・必要に応じて情報提供を行っている。 ・同法人内の事業所については、連携体制の構築を図っている。						
	6	○			・同法人内の児童発達支援センターとの連携を図っている。						
	7	○			・徒歩圏内にある公園(社会資源)を活用した活動を定期的実施するなかで、地域の子どものとの交流の機会はあるが、放課後児童クラブや児童館との交流などが行っていない。 ・今後は法人内の地域交流活動拠点となっているカフェ&アトリエを活用して地域の子どものとの交流を図っていく予定である。	8	1	5	14	・保護者として交流を求めているので十分です。	・法人内の地域交流活動拠点となっているカフェ&アトリエを活用して地域の子どものとの交流を図っていく。 ・わからないとご回答いただいている方もいらっしゃることから、文章やブログ等での情報発信を行う。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
	8			○	・新型コロナウイルスの影響により、地域住民参加型の行事は開催できていないが、法人の広報誌を近隣の方々に利用者様が配布を行うなど、地域の方との繋がりを構築していく予定である。						
保護者への説明責任・連携支援	1	○			・契約時の説明を徹底している。 ・問い合わせがあった場合には資料をもとに説明を行っている。	28					
	2	○			・モニタリング(6ヶ月に1回)時にわかりやすい言葉で説明を行うとともに、保護者がお迎えに来られた際に随時状況の伝達も行っている。	28				・しっかりと説明をしてくれており、救われます。	
	3	○			・保護者様向けの勉強会を開催している。 ・小学生の保護者様向けのペアレント・トレーニングを実施予定。	20	3	2	3		・小学生の保護者様向けのペアレントトレーニングを実施予定。 ・わからないとご回答いただいている方もいらっしゃるから、文章やブログ等での情報発信を行う。
保護者への説明責任・連携支援	4	○			・保護者のお迎えの際や送迎の際の状況伝達を徹底するとともに、必要に応じて電話連絡を行っている。	27	1				
	5	○			・保護者からの相談に随時応じるとともに、座談会も実施している。	27	1				
	6	○			・座談会を開催している。今後は機会を増やしていきたいと考えている。 小学生の保護者様向け 中学生以上の保護者様向け 混合型 卒業生の保護者様参加型	19	4		5		・座談会を開催しているが、さらに多くの保護者様に参加していただけるように周知や開催日時等調整を行う。
	7	○			・マニュアルに沿って迅速かつ適切な対応に努めている。	19	3		6	・苦情はありません。	・わからないとご回答いただいている方もいらっしゃるから、あらかじめ契約時およびモニタリング等の面談時における説明を徹底する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
連携支援 (続き)	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○			・口頭だけではなく、必要に応じて文章(プリント配布)にて提示を行っている。	24	1	2	1	・カードを作って使ってください。	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○			・活動予定及び行事予定については、毎月文章にて案内している。 ・年4回広報誌を発行するとともに、定期的に活動内容を事業所内に掲示したり、ブログに掲載することにより、情報を発信している。今後はブログの記事についても上記の活動予定及び行事予定の案内時に同封し、さらなる周知を図っていく。	27	1				
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	○			・マニュアルに沿って適切に対応している。	28					
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○			・研修を実施するとともに、事業所内に掲示することにより、周知している。	23	4		1	・安心しています。	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	○			・計画に沿って実施している。	21			7		・わからないとご回答いただいている方もいらっしゃるから、あらかじめ契約時およびモニタリング等の面談時における説明を徹底する。 ・避難訓練を実施した際はブログにて発信するとともに、文章でも周知を行う。
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			・研修を年2回実施するとともに、虐待防止チェックリストをもとに、支援方法を振り返りを行っている。						
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載				・現在は該当者なし。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
対応 (続き)	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応		○		・保護者よりアレルギーや服薬についての情報を収集し、職員間で共有している。 ・医師の指示書については保護者に確認予定。	/	/	/	/		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○			・ひやり・はつと報告書を作成し、リスクマネジメント会議を月1回開催し、共有している。(6か月ごとに分析)	/	/	/	/		

※自己評価表【事業者用】は事業所全体で実施した自己評価となっています。